

自治会・町内会が補助金を受けて
実施した事業を一部紹介します。

平成30年度

紡ごう絆地域応援事業 事例集

所 沢 市

もくじ

紡ごう絆地域応援事業 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 1

チャレンジコース

- 三ヶ島ふれあい祭り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 3
【三ヶ島地区第八区自治会】
 - コミュニティガーデンを通しての活性化促進事業・・・・・・・・P. 5
【グリーンヒル自治会】
 - 町内会ファームで地域づくり・・・・・・・・・・・・・・・・P. 7
【北打越町内会】
 - 旭町町内会 防災倉庫の設置と町内会加入促進事業・・・・・・・・P. 9
【旭町町内会】
 - 新所沢団地自治会自主防災会連合会 高層住宅の災害時防災ガイド・P. 11
【新所沢団地自治会】
 - 小旗を活用した災害有事安否確認・・・・・・・・・・・・・・・・P. 13
【小手指第八区自治会東組】
 - 手（小）旗を活用した災害事有事安否確認・・・・・・・・P. 15
【小手指第八区自治会西組】
 - 岩岡自治会 体験農場 みんなで枝豆をつくろう・・・・・・・・P. 17
【岩岡自治会】
-

ステップアップコース

- 朝市・移動店舗 事業・・・・・・・・・・・・・・・・P. 19
【フラワーヒル所沢地区自治会】
- 地域の子供達の居場所創りを通して、一人ぼっちを創らないコミュニティ
促進空間と加入促進事業Ver2・・・・・・・・P. 21
【東所沢和田3丁目自治会】
- 鯉のぼりの掲揚とドレミの丘ミニ音楽祭・・・・・・・・P. 23
【荒幡町内会】
- 防犯防災事業・・・・・・・・・・・・・・・・P. 25
【下安松中新井自治会】

- 「こどもカフェ」で学習&遊びの居場所づくり・・・・・・・・・・ P. 27
【安松町内会】
- 自治会改革プログラム・・・・・・・・・・ P. 29
【小手指第六区北部自治会】
- 東町町内会 安心安全の自主防災Ⅱ・・・・・・・・・・ P. 31
【東町町内会】

各自治会・町内会位置図



<事例集について>

本冊子は、実施団体の事業計画書や実施報告書に基づき作成しております。
事例集の作成にあたり、多大なる協力を賜りました各自治会・町内会の皆様に深く感謝申し上げます。

平成30年度に紡ごう絆地域応援事業として採択した、15の事例を紹介します。
各自治会等が平成30年4月から平成31年3月までに実施した内容をまとめたものです。ほんの一部の自治会活動の紹介ですが、「自治会ってこんなことしてるんだ！」
「この活動、私たちもやってみようかな！」 と思っただけいたら幸いです。

それでは次ページからご覧ください。

三ヶ島地区第八区自治会 三ヶ島ふれあいまつり



目的

商店街の活性化と、三ヶ島地区の住民相互の交流で親睦を図り、絆を深めることを目的とする。



内容

地区内の学校の生徒や趣味の活動をしている人たちが、公園内特設ステージで発表する催し物と、地域の人たちが参加するフリーマーケット、バザー、模擬店などの出店と歩行者天国の開催。



スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
4月	三ヶ島地区内	三ヶ島地区内の関係団体へ協力依頼	使用許可等申請書類提出
5月	三ヶ島地区内	ステージ設営、機材調達、警備計画	役割分担、宣伝、広告
6月	和ヶ原公園、TAIRAYA駐車場、和ヶ原商店街通り	開催準備、開催、後片付け	イタリア使節団の参加



共同実施団体

共催：和ヶ原商店街振興組合・狭山ヶ丘中央商店会 後援：三ヶ島まちづくり推進会議



事業の運営体制

役割	人数	備考
計画作成・参加団体協力依頼	10人	各団体の実行委員による委員会開催
参加者への準備スケジュール連絡	10人	
ポスター・広告・チラシ作成	6人	広告「ショッパー」掲載 チラシ新聞折り込み
警備・開催施設・機材準備・会場管理	50人	



活動の効果

三ヶ島地区内の住民が集う機会が少ないことと、地区内の商店街が廃れつつあることから、活性化を図る催しとして、「三ヶ島ふれあい祭り」を盛大に開催しました。

ステージでは地元の中高生の吹奏楽団、チアリーダーの演技、各種バンド演奏、太鼓、カラオケ等の催し、会場内では模擬店、子ども達による子ども神輿巡業等大いに盛り上がりました。

2020年東京オリンピック・パラリンピックで、地元の早稲田大学キャンパスがイタリアチームの事前キャンプ地となる縁から、イタリアの「コーリー旗手団」による華やかなパレードとパフォーマンスで参加していただき、華を添えていただきました。

今後は三ヶ島まちづくり推進会議が中心となって「三ヶ島ふれあい祭り」を地区内で場所を変えて毎年続けていくこととしています。



写真



▲コーリー旗手団によるイタリア伝統芸能の「旗振り」パフォーマンスが、お祭りを華やかに盛り上げてくれました。

▲子ども達もたくさん参加してくれました。写真は子ども神輿巡業の様子です。



▲三ヶ島中学校・所沢商業高校吹奏楽部とチアリーダーの皆さんも祭りを盛り上げてくれました。このほかにも様々な催しが行われました。

グリーンヒル自治会 コミュニティガーデンを 通しての活性化促進事業



目的

自治会内に公園がないので、草花できれいにしたガーデンにベンチを設置し住民の憩いの場とする。



内容

ガーデン造り・維持を通じて、みんなで考え、みんなで作って、みんなで楽しめる活動をする。



スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
7月～8月	自治会館	コミュニティガーデンの情報収集・プランニング・検討・作成	
9月	自治会館	住民への説明会	コンサルタントをお願いする参加者募集
9月～12月	ガーデン地・自治会館	草取り・土壌改良・会議	
1月～2月	スタッフ宅・ガーデン地	看板・ベンチ作成・花の植栽	
3月	ガーデン地・自治会館	看板・ベンチ設置	



共同実施団体

なし



事業の運営体制

役割	人数	備考
コミュニティガーデンクラブ設置	5人	部長1人、副部長2人、会計1人、広報1人
参加者への連絡・チラシ配布	2人	
チラシ作成	1人	
園芸用品の購入・管理	19人	月1回程度の会議



活動の効果

グリーンヒル自治会内のまちづくり委員会によるアンケートで「グリーンヒル内に公園がないので、それに代わる場所がほしい」という意見が多くありました。柳瀬川沿いに遊歩道もあり、少し広い広場もあったため、その場所に花壇やベンチを住民の手で設置しました。

そこを高齢者の方々、子供たちが集まれる場所として「コミュニティガーデン」と名づけました。

春になり、かわいい花が咲きだし、通りすがりの方々も楽しみだと声をかけてくださいます。4~5年後には花壇の植物も増えて、住民の憩いの場となり、住民の方々にも浸透するように働きかけたいと思います。



写真



▲様々な準備・調整の末、ようやく「コミュニティガーデン」が完成しました！花壇には明るく花が咲き、住民の皆さんにとって親しみやすい空間となっています。



▲ベンチを設置してゆっくりくつろげるようになっていました。住民の方の手作りの掲示板も設置して、広報活動にも力を入れていきます。



▲今後ますます地域の皆さんに愛される空間をめざしていきます。

北打越町内会 町内会ファームで地域づくり

目的

この地域に「絆」をつくる事業として、古くから住む農業に関わっている家庭と、新興の新しく住まれた家庭とを結びつけ、町内会未加入の家庭に町内会の活動が見えるような活動を行う。

具体的には畑づくりを通じた共同作業で地域のコミュニティを新たにつくり、指導農家の方から地域の歴史を学ぶ。

内容

- ・夏向き・秋向きの畑作業、発信、野菜配布会
- ・畑という新たな交流の場ができる
- ・活動の見える化
- ・共に汗をかきながら相互理解が進む
- ・この地域の歴史文化への理解が進む

スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
4月	町内会畑	トマト・ナス・キュウリ植えつけ	
7月・9月	町内会畑	ジャガイモ掘り起こし、秋の畑準備	
12月	町内会畑	ダイコン収穫	
3月	町内会畑	ジャガイモ植えつけ	参加者LINE登録
4月～3月	町内会畑	除草・種子苗準備	

共同実施団体

なし

事業の運営体制

役割	人数	備考
畑作業計画調整役	2人	
参加者連絡 複数参加	2人	LINEグループ作成
参加者連絡 複数参加	10人	各班運営委員に連絡



活動の効果

- 子ども達と親の若い世帯の参加が多く、地域に古くから暮らす世帯との交流が持てた。これにより地域の伝統が子の世代にまで伝えられた。
- ともに汗をかく作業をすることで共同体として親交が深まった。
- 畑が入り込める自然として、また身近な安全な場所として地域に開放された。
- 作業がきっかけで入会者が1名あった。この地域を転居された方も参加して協力してくれた。



写真



▲新しい家族同士が知り合いになり、休憩時には地域のことを話す機会もできました。道路を歩く方も関心を持ち、ファームを通して「絆」づくりが図られています。



▲参加した子ども同士も遊びながら交流が図られていました。みんなでわいわい汗をかきながら、次の収穫を楽しみにして畑作業を楽しみました。

旭町町内会

旭町町内会 防災倉庫の設置と 町内会加入促進事業

目的

旭町くすのき台地区の住民が多く利用する長者久保公園に防災倉庫を設置し、災害時に地域住民が一時避難場所として活用できる防災用品を保管する。また防災倉庫の表とびらに町内会未加入者への加入促進を図るボードを作成し、啓発活動を行う。

内容

グラウンドゴルフ、ゲートボール場、保育園児の遊技場、近隣住民の憩いの場として多くの人々に利用されているこの長者久保公園に防災倉庫を設置し、災害時に地域住民が一時避難場所として活用できる防災用品を保管する。また防災倉庫の表とびらに町内会未加入者への加入促進を図るボードを取り付け、啓発活動を行うと共に人と人との絆を深める。ボードはポスターにして町内掲示板にも貼付すると同時に町内回覧に掲載し広く勧誘する。

スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
5月	旭町公民館	事業の確認・役割分担	参加者13人
6月	〃	防災倉庫設置場所を市役所公園課と相談・見積り依頼	参加者2人
7月	現地	町内掲示板・回覧にて防災倉庫設置と加入促進運動のポスターを周知	参加者3人
8~12月	旭町公民館他	町内会未加入者への働きかけ促進	参加者13人
1月	旭町公民館	事業まとめ	参加者13人

共同実施団体

なし

事業の運営体制

役割	人数	備考
事業実施への説明及び周知・応募	1人	
市役所との調整	1人	
ポスター作成・掲示板への掲示	2人	
加入促進運動の継続実施	13人	



活動の効果

防災倉庫設置にあたり倉庫のとびらに町内会加入促進のアピール文を貼付し、同様の文を回覧板、掲示板にも掲載した。また町内会行事の様々な場面で、役員・会員に近くに住む未加入者へ加入の勧誘をしてもらった。その結果、個人会員11人、法人会員1社・1団体が新たに加入した。今後も町内会加入のメリットを理解してもらい様々な方法を考え、継続して加入促進を行っていくことが必要である。特にマンション・アパートに住む人に対し、オーナーの協力を得ながら、建物ごとの町内会費集金や啓発ポスターの貼付、掲示板の設置等、きめ細かいサービスを行うことも考えていきたい。



写真



▲ 防災倉庫設置 地域の住民が多く利用する公園に設置して、一時避難場所として活用できるようになりました。倉庫には加入促進の啓発ボードも貼り付けています。

近隣住民の皆様へ
この防災倉庫は、地域の皆様に防災に対する意識を持っていただき被災時には一時避難場所として活用いただけるよう設置しました。
この公園は地域の皆様のレクリエーションや憩いの場としても幅広く利用されており、人と人の絆を深め、助け合いの精神も育てるものと確信しております。
旭町町内会に未加入の方には是非、町内会員としてご入会いただきたくお願い申し上げます。
ご不明な点はお近くの町内会役員までおたずね下さい。
旭町町内会長

旭町・くすのき台地区
町内会員の皆様へお知らせ
この度、くすのき台・長者久保公園に防災倉庫を設置致しました。被災時に一時避難場所として活用できる防災用品を保管しています。
地域の皆様に防災意識を高めていただき、有事に備えたいと思います。
平成30年7月 旭町町内会長
掲示板 貼付用

町内会回覧用文章
町内会会員各位
この度、くすのき台・長者久保公園に防災倉庫を設置致しました。被災時に一時避難場所として活用できる防災用品を保管しています。地域の皆様の防災意識を高め有事に備えたいと思います。
また、この公園は地域の皆様のレクリエーションや憩いの場として幅広く利用されており、このような活動が人と人との絆を深め、助け合いの精神も育てるものと確信しております。
旭町町内会に未加入の方には是非、町内会に入会いただき、町内諸行事に積極的に参加をお願いしたいと思います。
ご不明な点はお近くの町内会役員までおたずね下さい。
旭町町内会長



回覧板・掲示板・防災倉庫のとびらなど様々な方法で周知を行いました。未加入者への呼びかけを行うことで、町内会加入につながりました。今後も広くPRして加入促進を図っていきます。

新所沢団地自治会

新所沢団地自治会自主防災会連合会

高層住宅の災害時防災ガイド



目的

- 自治会活動を通し、人と人との絆の大切さを理解していただく
- 自治会加入の促進、「いざ」というときの災害時の対応
- 自助・共助・公助、減災のための備え



内容

自主防災訓練時のテキスト配布、さらに近隣と触れ合う場づくりを行うことにより、災害時の大きな力となる。



スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
6月	けやき通り第3集会所	集合住宅に特化したガイドブック・住民への説明	拡大役員会説明 委員会発足5名
7月	けやき通り第3集会所	高齢者・障害者へのガイド資料収集	危機管理課訪問相談
8月	自治会事務所会議室	編集会議	フリーディスカッション
2月	自治会事務所会議室	編集会議	危機管理課訪問、資料相談
3月	自治会事務所会議室	編集会議・最終確認	印刷発注第1次会員向け



共同実施団体

自主防災会連合会・自治会各専門部・都市機構（大規模災害時被害情報協定書締結）



事業の運営体制

役割	人数	備考
資料収集	2人	UR都市機構訪問依頼
東日本大震災被災者体験原稿	1人	体験者の原稿の見聞
編成	5人	プロジェクターを用いて確認
編成	3人	最終確認、印刷依頼



活動の効果

○当自主防災会では、開設以来「防災会しおり」を用いて、防災活動に力を入れてきました。本しおりは会則・組織図等が中心となっています。近年災害が多発している時代、防災ガイドブックを作成することになりました。

○所沢市発行の防災ガイドを活用していますが、私達の住まいは集合住宅（公団住宅）であり、震度7強の強い揺れ等でも建物は倒壊しないとされています。そこで「いざ」災害時、住民に在宅避難を促進していくためのガイドブックとなっています。

○効果について

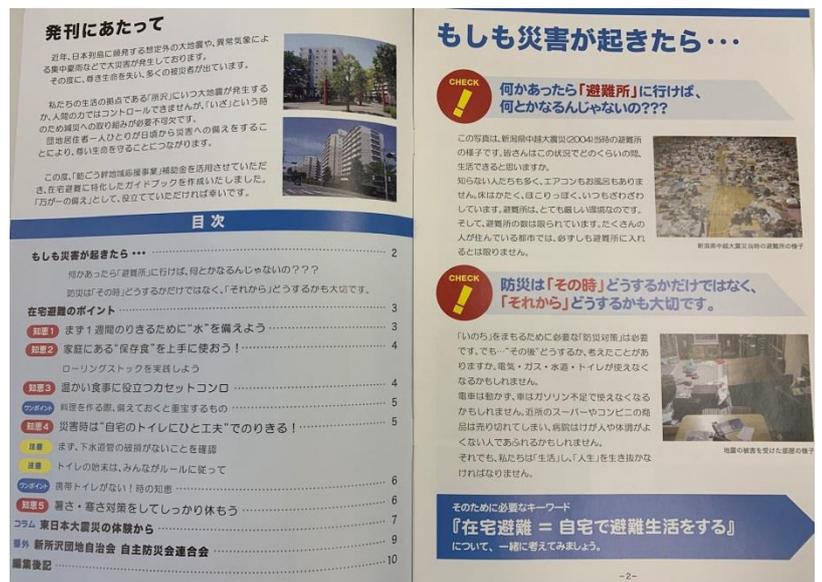
今後、毎年11月に実施している防災訓練等に活用して、日常的に今回作成した「団地に特化した」ガイドブックを手元に置いて住民の意識を高め、減災に役立てばと考えています。



写真



▲11月の防災訓練ではガイドブックを使って勉強会を開催しました。「団地に特化した」独自のガイドブックとなっているため、大きい効果が期待されます。



▲ 防災ガイド
このガイド作成にあたり、20回ほど会合を開き、意見を出し合いました。非会員にも配布しています。

小手指第八区自治会東組 小旗を活用した災害有事安否確認



目的

旗を活用して災害有事および防災訓練時の安否確認体制の確立・強化と安否確認資機材を各会員世帯が保有することにより、日常的に危機管理意識の高揚をはかる。



内容

当自治会の会員世帯区域は戸建て住宅が多い。有事および訓練時の安否確認を短時間で行う体制を導入。夜間、停電時にも、視認性の高い蛍光黄色地に経時被爆色抜けしにくい黒文字で「無事です」と印刷した旗を作成し、安否確認資機材として会員世帯に配布する。有事においては要支援者が意思表示をすることが困難なことが多い。複雑な組み合わせのものは有事の確認が困難。旗を掲げた無事な世帯には支援者側になっていただき、旗を掲げていない世帯を要支援世帯の対象とする。「災害有事のベース作りに寄与」



スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
4月	第八区集会所	総会にて意思決定	
7月		安否確認小旗の発注	
8月		安否確認小旗の納入	
8月	会員各世帯	会員各世帯に安否確認小旗を配布	
9月	会員各世帯宅	市の防災訓練の日に合わせて試験活用	



共同実施団体

なし



事業の運営体制

役割	人数	備考
企画決定、総会への事業提案	10人	正副区長、理事
安否確認小旗の調達	1人	
案内回覧文書の作成	1人	
安否確認小旗の配布	59人	区長、理事、班長



活動の効果

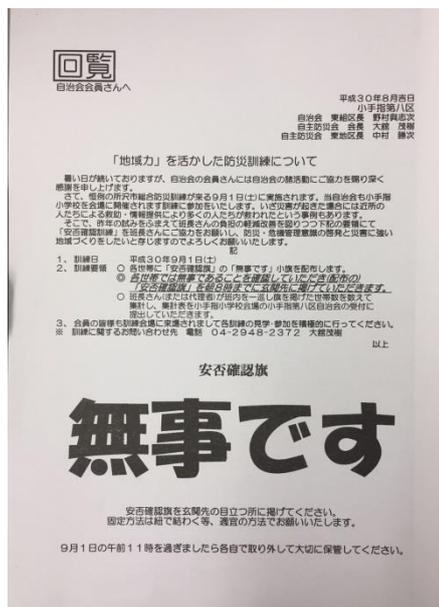
最近各地の災害ニュースを見ると、人命に関わる要支援者が自ら助けを求めていることは少ないようです。要支援の標識を用意しておいても人命に関わる災害を受けた場合には、その要支援の標識そのものを掲げること、自ら助けを求めることすら困難なようです。無事な方が安否を気遣って要支援者を探して支援をしたり、支援を求める仲介をするのが現状のようです。

今回の取組みは、玄関近くの日常的に目に触れるところに安否確認機材を保管していただき、普段から地道に危機管理意識の高揚を図るためのものです。昨今の全国各地の状況に比較して自然災害の少ないところに位置する自治会ですが、危機管理意識の高揚に寄与するものと思います。安否確認に無事の表示を掲げる、通常とは逆転の発想に感銘の言葉をかけてくださった会員さんもありました。

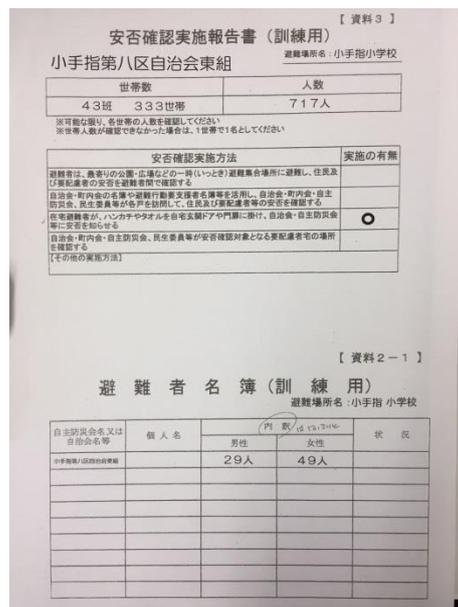
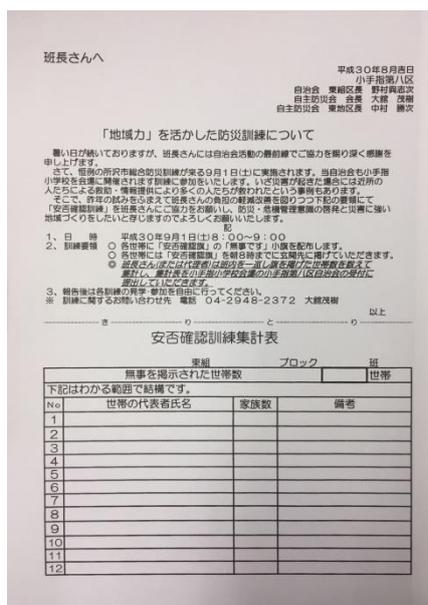
防災訓練において、他の訓練会場では悪天候のため室内での訓練のみに規模を縮小しているとの情報を耳にしましたが、当自治会の参加会場では予定しました訓練は全て実施しました。

今回導入いたしました安否確認旗を使用しての安否確認訓練では、悪天候の状況にもかかわらず、43班333世帯717人の方の協力を得ることができました。

自治会への加入促進については、打ち上げ花火的なものではありませんので、即効性の効果はまだ出ておりません。自治会のこのような地道な取組み・体質が評価されれば、加入促進に今後寄与するものと思います。



安否確認訓練集計表
「無事です」を掲示した
世帯や家族構成が分かる
ように事前に集計表を配
布しました。



▲自治会会員への周知
回覧で事業のインフォ
メーションを行いました。
当日は「無事です」の
小旗を掲げています。

▲報告書
717名の参加がありました。
近年高まっている防災
意識が参加人数にも表
れています。

小手指第八区自治会西組 手(小)旗を活用した 災害事有事安否確認



目的

旗を活用して災害有事および防災訓練時の安否確認体制の確立および強化と安否確認資機材を各会員世帯が保有することにより日常的に危機管理意識の高揚をはかる。



内容

当自治会の会員世帯は戸建て住宅が多い。有事および訓練時の安否確認を短時間で行う体制を導入。夜間、停電時にも、視認性の高い蛍光黄色地に経時被爆色抜けしにくい黒文字で「無事です」と印刷した旗を作成し、安否確認資機材として会員世帯に配布する。有事においては要支援者が意思表示をすることが困難なことが多い。複雑な組み合わせのものには有事の確認が困難。旗を掲げた無事な世帯には支援者側になっていただき、旗を掲げていない世帯を要支援世帯の対象とする。



スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
5月	第八区集会所	役員にて事業実施を決定	
7月		安否確認の手旗発注	
8月		安否確認の手旗の納入	
8月	会員各世帯	会員各世帯に安否確認手旗を配布（事前の配布周知回覧を含む）	
9月	会員各世帯宅	市の防災訓練の日に合わせて試験活用	



共同実施団体

なし



事業の運営体制

役割	人数	備考
役員会で事業提案	9人	正副区長、理事
安否確認手旗の調達発注	1人	
手旗の配布・活用（実施）方法等の回覧作成	1人	
安否確認手旗の配布	51人	副区長、理事、班長



体験農場

岩岡自治会 みんなで枝豆をつくろう



目的

共同作業を通して親睦を深め、コミュニケーションを図る。



内容

もともと空き地になっていた畑を利用して、みんなで枝豆をつくる。播種から収穫までのぼり旗を立てて活動を周知し、自治会未加入の方も参加可能とすることで加入促進効果を図る。



スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
4月	体験農場	播種作業	
6月	同上	除草 寒冷紗被覆	
7月	同上	収穫	
7月	同上	食味会	



共同実施団体

育成会、熟年クラブ



事業の運営体制

役割	人数	備考
播種作業	36人	
管理作業	10人	小雨だったため参加者が少なかった
収穫作業	45人	収穫祭は他地区からも参加があった



活動の効果

- 参加してくれた方はみんな楽しそうだった。
- 共同作業をして親睦が深まった。
- 収穫後、公民館で枝豆をゆでみんなで食べた。
- 普段使わない防災用の鍋を使ったことで、いざというときにもみんながつかえるようになった。



写真



▲収穫の様子

収穫後は公民館で枝豆をゆでてみんなで食べました。
とりたて！もぎたて！ゆでたて！の枝豆と冷たい飲物で収穫を祝いました。



▲大人から子どもまで老若男女問わず参加がありました。

みんな初めての経験でしたが親睦が深まり、楽しく作業をすることができました。

ステップアップコース

(富岡地区)

フラワーヒル所沢地区自治会 朝市・移動店舗 事業



目的

平成26年1月地区内スーパーが撤退し、食品や生活用品調達に大きな影響が発生。地域全体の買い物難民化が進み加入員の低減傾向が見られる。自治会は、高齢化が進む地域内住民の食生活用品の買物機会の提供と、加入員の増加を目的に平成26年11月「朝市事業」を立ち上げた。



内容

毎月第2・3・4木曜日の午前10:00～11:30に開催している。

☆1、什器備品格納庫設置により、ボランティアの体力低下による作業負担を補い事業の継続性を向上させる。

☆2、ポスター・チラシによる新規出店者を募る（ポスター等の掲示先を増やす）



スケジュール

時期	場所	実施内容
毎月第2,3,4木曜日 10:00-11:30	フラワーヒル商店街広場前	<ul style="list-style-type: none"> 「お休み処」の拡大、テント・机・看板・のぼり旗・台車購入 開催日告知ポスター作成と備置（まちづくりセンター・富岡荘・ラク所沢・フラワーヒル内計70箇所） 告知チラシの作成と配布（地区内750部、近隣56部） 朝日新聞の情報誌へチラシ掲載を実施 周年記念事業「フラワーヒル秋の感謝デー」（大売出し・子どもアームレスリング大会・カレーショップ・福引） ボランティアによる設営・撤去・清掃・来場者の誘導見回り。役員による打合せを毎週実施して反省と改善を行った。



共同実施団体

シルバー農園、十四軒大樹、島村漬物、どんぐり、ヤクルト、チャックカフェ、和ヶ原商店街、中村農園、パルファーム、トヨファーム、谷亀ファーム、（前年から追加参加）→ 荻野精肉店、桜井豆腐代理店、洋菓子ドゥ・クロシュ、包丁研ぎ、浜野農園



事業の運営体制

役割	人数	備考
地域活性化委員会	12人	地域活性化として朝市の動向の見守り
朝市担当	4人	毎月実施の朝市の計画と反省
ボランティア	約25人	毎回の設営・撤去作業、「お休み処」の湯茶接待
ポスター・チラシ作成	4人	ポスター・チラシの作成印刷と配布・掲示
出店者との連絡調整	4人	翌月予定等の連絡、出欠の把握



活動の効果

朝市事業は、当該地区の商店街衰退に伴う食品スーパーの撤退等による日常食品買い物拠点消滅が背景である。高齢化が進む住民のため、平成26年11月自治会主導ボランティアにより、近所の家庭菜園者に声をかけ生鮮野菜を中心に「朝市」を立ち上げた。また、同時期に始まった「和ヶ原商店街移動店舗事業」とのコラボ運営の話もまとまって「朝市・移動店舗事業」がスタートした。その後、平成28年8月に食品スーパー誘致三者協議会（所沢市・狭山市、西武プロパティーズ、自治会）開催に至ったが、確たる進展がなく早期の店舗誘致は困難とのことから「朝市・移動店舗事業」の重要性が高まった。

朝市事業は、実施以来4年6ヶ月に及び住民から高い支持を得ている。現在では17の出店登録者と年間売上高約620万円程度、一回の来場者は90人を超える実績である。朝市事業の継続には80%の住民が支持しており、また今期拡張された「お休み処」は、開催日に集う住民に談笑の場として利用され特に喜ばれている。今後も改善を図り継続していく。

■今期のステップアップ

1. 出店者を広く募集し、品揃えの充実と買い物客増加に努めた。
今期は前年の12店舗に加え、新たに5店舗の参加があった。さらに2店舗（個人農園）の出店の希望も受けており、今後も引き続き募集を続けていきたい。
2. 住民コミュニティの場の充実
コーヒー移動販売車「チャック・カフェ」の参加、またボランティアによる湯茶の接待としての「お休み処」の開始により、来場者同士の賑やかなおしゃべりの場を提供している。今期はテントを拡大し好評を得ている。
3. 毎年実施の朝市・移動店舗事業周年記念の開催
4年目を迎えた平成30年11月23日は「秋の感謝デー」と銘打ち、子どもアームレスリング大会開催と同時にボランティアによるカレーショップをオープンし、会場はお祭り気分を醸し、子ども・親御さんたち多くの来場者で朝市の存在が再認識された。
4. 物置の設置
西友ストア（平成28年12月解体）の更地化した跡地に、平成30年10月物置を設置し、設営・撤去の大幅な効率化が図られた。

写真



▲「秋の感謝デー」
子どもアームレスリング大会とカレーショップオープンにたくさんの親子が集まりました。イベントは盛況となり朝市が活気づきました！

▲今年度から「お休み処」を開始。
ボランティアの方が湯茶接待をしてくれています。皆さんの談笑の場として特に好評でした。

東所沢和田3丁目自治会

地域の子供達の居場所創りを通して、一人ぼっちを創らない
コミュニティ促進空間と加入促進事業Ver2



目的

地域内には、共稼ぎなどが原因で、行き場のない子供たちがいる。自治会集会所を利用して、夏休みや冬休み、さらに、普段の日の帰宅後の時間に集える場所を提供。宿題を見れるスタッフや、一緒に遊べるスタッフなどを準備して対応に備える。
会員世帯の会員増員数も、昨年5世帯だったので、今年度は増員数10世帯を目標とする。



内容

☆昨年度は週1回金曜日に開催していたが、今年度は土曜日と金曜日の週2回開催する。
安定した集える空間の提供により、子供同士のコミュニケーションが取れる。また、地域スタッフとのコミュニケーションも図れる。忙しい親などとの家族のコミュニティも復活してくる。
小中学校に通う家族の中にも、未加入家族もいるので、加入者の増大が期待できる。応援諸団体の拡大協力の輪が期待でき、今後の地域活動に効果が出てくる。
☆外国語を話せる外部講師を呼び、多国籍な子ども達にも対応する。



スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
4月～3月	東所沢和田3丁目集会所	和洋室を利用	
12月	和田小学校校庭・体育館		
8月～10月	東所沢公園		



共同実施団体

なし



事業の運営体制

役割	人数	備考
自治会本部役員	10人	
民生委員	2人	
多文化日本語教師陣	3人	
和田学童クラブ	3人	



活動の効果

今年度より土曜日と金曜日の週2回の開催として、地域内で行き場のない子供たちの集える空間を提供しました。

会員増員数も、昨年度は新規加入世帯が5世帯でした。今年度の計画では、新規10世帯を目標とし、実際には23世帯もの新規加入がありました。



写真



▲日本の古い遊び企画

将棋やけん玉、ベイゴマ回しなど熱が入ります。和田学童クラブの応援もあり16名ほどの子どもが参加してくれました。



▲ハロウィン企画

魔女達と正義の騎士に分かれ、20数名の参加者が仮装をしてゲームをします！

参加者へはお菓子が配られました。



◀七夕短冊飾りつけ

手作りの七夕飾りがたくさんできました。願いを込めて5色の短冊に書き記して飾ります。

できた短冊は集会室の玄関に飾り付けました。

自治会や地区を越えて子どもたちが参加してくれました。

荒幡町内会 鯉のぼりの掲揚と ドレミの丘ミニ音楽祭



目的

荒幡小学校北側にあるドレミの丘公園に鯉のぼりを掲揚する。また、同公園にステージを造りミニ音楽祭を開催。地域の絆と子供の健やかな成長と健康を願い開催する。



内容

鯉のぼり掲揚により子供たちに夢を与え、ドレミの丘公園のネーミングを活用し市が進める「音楽あるまちづくり」に相応しい事業を実施する。地域の老若男女が来場しコミュニケーションすることにより地元愛着心が生まれ地域の絆が一層深まる。

☆今年度は古い音響装置を一新、スピーカー等を購入し、良い音で聞いてもらう。
事業終了後、町内会館で写真展を開催する。



スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
4月	町内会館	役員会	24人
4月	町内会館	チラシの作成	2人
4月	町内会館	出演交渉依頼	3人
4月		物品購入	7人
4月29日～5月5日	ドレミの丘	ミニ音楽祭	20人
9月22日～23日	町内会館	写真展	



共同実施団体

なし



事業の運営体制

役割	人数	備考
チラシ作成	2人	
事業実施協力者	42人	
物品購入者	7人	
写真展	10人	



活動の効果

目的であった鯉のぼり掲揚により子供たちに夢を与え、ドレミの丘公園のネーミングを活用し市が進める「音楽あるまちづくり」に相應しい事業を実施し、地域の老若男女が来場しコミュニケーションすることにより地元愛着心が生まれ地域の絆が一層深めることができた。

当日は晴天に恵まれ荒幡町内はもとより、近隣から大変多くの方々に来場いただき、盛大に開催することができた。場所は公園だが、一般的な公園ではなく北傾斜で一番低いところに舞台をつくり、そこで演奏や歌を披露していただく。今年で3回目の事業であったが、毎年来場者が増えていて町内会役員は嬉しい限りである。

写真展では応募総数が70点以上にのぼり人気投票により上位3名を選出して表彰した。開催日にはお彼岸中にも関わらず、200人以上の来場があり、一人3点投票した開票には1時間かかり大変白熱した。



写真



◀ ミニ音楽祭

鯉のぼりが青空を泳ぐ快晴の下、5月5日に開催されました。

観客の皆さんは芝生に座りながら心地よい音楽を聴いて最後まで楽しんでいました。

荒幡囃子連、幼稚園児・小学校有志の合唱、女性合唱団、メソソプラノ、ジャズ、サクソフ、クラリネット、ピアノ伴奏など様々な音楽が奏でられました。



▲ ピーンズロックバンド

多彩な演奏で音楽祭を盛り上げます！



▲ 山口中学校吹奏楽部の演奏

丘の下まで響いて、遠くまで演奏が伝わります。

下安松中新井自治会 防犯防災事業



目的

みんなが安心して暮らせる地域づくりを目指す。



内容

地域の絆を深めるための事業の展開 ー互いの顔が見える行事ー

①さくらまつり…会員による出し物や模擬店・紙飛行機飛ばし・消防車に乗ろうイベント。更に消防士の仕事理解を深め、防災についてのミニセミナーコーナーを設ける。また所沢にちなんだ誰でも参加できる「所沢豆知識ゲーム」を行う

☆②防犯パトロール…自分達の手で地域を守る。6月～12月の18時から毎週2回1時間地域を回る。さらに防災セミナーを行う。看板を掲示し防犯に対する意識の向上を図る。

☆③中新井のおばあちゃん家…居場所づくりとして月1回第一木曜に開催。健康体操・講演・かまどを使った料理などを行い、多世代交流を図る。

☆④敬老会…昔の人の知恵を次世代に残す。さらにオレオレ詐欺防止の講演を行う。

☆⑤ハロウィン祭り…子どもたちが地域を知り、人と挨拶を交わす心地よさを知る。さらに交通安全指導を開催した。

⑥自主防災訓練…所沢消防署指導「いざという時の備え」



スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
4月～3月	自治会館・安松神社・長源寺	中新井のおばあちゃん家	参加302人
6,7月,9月～12月	自治会周辺地域	防犯パトロール	参加426人
9月29日	自治会館	敬老会	参加31人
10月27日	自治会館・会員宅	ハロウィン	参加151人
2月16日	自治会館	自主防災訓練	参加22人
3月31日	自治会館・幼稚園園庭	さくらまつり	参加715人



共同実施団体

安松小学校子ども会（むさしの支部・南支部）



事業の運営体制

役割	人数	備考
パトロール計画とパトロール備品管理	3人	
「中新井のおばあちゃん家」計画と実施・連絡	4人	
パンフレット作成・回覧作成	5人	
防災備品管理・購入	2人	



活動の効果

- ①さくらまつり…消防車に乗ろうイベントでは消防団員への理解も深まった。また、今年
は地元の中学生在が販売の手伝いをしてもらい盛大に開催した。
- ②防犯パトロール…パトロールで得た自治会独自の情報から「防犯マップ」や「防犯パト
ロール中カード」を作成し、掲示や各家庭への配布をした。
- ③中新井のおばあちゃん家…一人暮らしの方が参加することで、地域とつながった。講話
や映画を見たり、聞いたりした。かまどを使って昼食やおやつを作る体験から、災害時の
炊き出しへつながった。人と人がつながることが防犯にもつながると考えている。
- ④敬老会…警察OBに依頼をして講話をしてもらった。紙芝居形式での講話だったため分
かりやすく、被害者にならないためどうすればいいのかの意識が高まった。
- ⑤ハロウィン祭り…地域の子供たちの繋がりが薄くなっている昨今、地域の中の子ども達、
大人を互いに知り合い、挨拶が生まれ、人と人がつながる機会となり、世代交流につな
がった。
- ⑥自主防災訓練…今年度初めて実技を行った。応急手当や消火器の扱いを行い、自らの命
を守ることの大切さと災害時への対応や備えを学ぶことができた。



写真



▲敬老会 防犯講話
警察OBの方の話は身に
迫るものがあり、どうす
れば被害にあわないか意
識が高まりました。



▲さくらまつり
800名近くの来場者を迎
え盛大に開催されました。



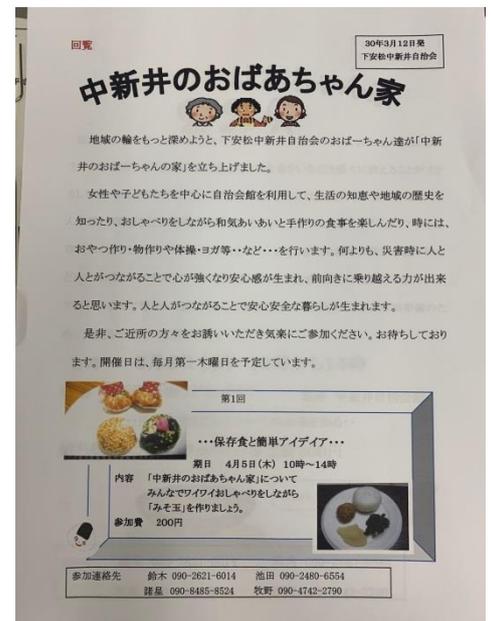
▲自主防災訓練
救急救命講話・三角巾体
験・消火訓練など行いま
した。



▲ハロウィン
防犯パトロールの方が、
子ども達と各家庭を回り
ながら危険な箇所を伝え
ました。



▲防犯パトロール
自治会が発足してから続
けている活動です。パト
ロールをしていると「ご
苦労さま」「ありがとう」のあいさつが交わさ
れます。



▲中新井のおばあちゃん家
月1回居場所づくりとし
て開催されました。

安松町内会 「こどもカフェ」で 学習&遊びの居場所づくり



目的

共働き家庭の多い町内会の若いパパママを応援するため、こどもの居場所づくりをサポートする。地区の民生委員や町内会スタッフ、高齢者とも交流できる。



内容

毎週木曜日の午後3時～4時30分「こどもカフェ開設」(こども無料 飲物・菓子付)

- ☆①こどもたちにも運営を手伝ってもらおう
- ☆②「七夕まつり」や「お月見会」にも参加してもらおう
- ☆③町内会に笑顔が広がるための活動



スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
6月	交流館	スケジュール・役割分担会議	
6月末～2月	交流館	「こどもカフェ」の実施	毎週木曜日 午後3時から
2月	交流館	実績集計&反省会	



共同実施団体

こども会、民生委員



事業の運営体制

役割	人数	備考
こどもカフェ実施	8人	2班に分けて担当
回覧板とポスター	5人	会長と役員
コーヒー・菓子購入	8人	カフェスタッフが担当



活動の効果

- ①共働き家庭が多く、若いパパママが安心して帰れるようになったと喜ばれた。
- ②子ども同士で仲間が増えたと喜ばれた。
- ③カフェスタッフ（高齢者）と子ども達の交流ができ、お互いに元気をもらったようだ。
- ④町内に笑顔が広がった。



写真



▲安松町内会の町内会館「交流館」を活用しています。

こどもは…町内会の『タカラ』

勉強も、将棋や囲碁も、郷土カルタ遊びも

こどもカフェ

開催日：毎週木曜日3時～4時30分

場 所：交流館(事前申込み不要)

参加費：無料(駄菓子・飲物つき)

主催：町内会コミュニティカフェ(スタッフ募集中)

▲こどもカフェのチラシで町内へPRしました。



▲こどもカフェの様子
人気のこどもカフェで、仲間が増えました。
またスタッフ（高齢者）とも交流が生まれ
お互いに楽しい時間を過ごしています。



小手指第六区北部自治会 自治会改革プログラム

目的

自治会の会員増強並びに組織の強化。
自治会が存続問題に直面しているため、緊急対策として自治会改革プログラムを実施する。「ホームページの充実」「あじさい祭りへの地域ボランティア参加」「隠れた地域貢献者の表彰」「防災研修及び地域防災の見直し」などを行う。

内容

- ☆①「ホームページの充実」…地域との絆を深めるためホームページに役員、ボランティア団体、外部団体等紹介及び活動内容を掲載する。
- ②「あじさい祭りへの地域ボランティア参加」…新たに地区内ボランティア(名称：ロックン男子、女子)を募集することにより、人員の発掘を行うとともに、各事業の運営も行う。
- ③「隠れた地域貢献者の表彰」…隠れた地域貢献者を自治会員の皆さんに推薦していただき、自治会をより身近なものとしていく。
- ④「防災研修及び地域防災の見直し」…新しく防犯灯設置図をつくり、防犯灯新設の要望を班長が取りまとめて出すことにより防犯意識を高める。またAED設置図なども検討し「安心安全な地域づくり」を進める。

スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
5月	小手指第六区集会所	地区内ボランティア募集 (ロックン男子・女子)	中学生含む 12人の参加
6月	六ッ家川緑道	あじさい祭り開催	
9月	小手指六区集会所及び六区地区内	防犯防災プロジェクトチームによる危険箇所の発見 (カーブミラー、道路標識等)	地域防犯防 災活動
9月	小手指中学校	学校及びボランティア参加生徒に対する感謝状授与	
10月	神奈川防災センター	防災研修バスツアー	
11月	小手指第六区集会所	ホームページの充実	

共同実施団体

小手指第六区中部自治会・小手指第六区南部自治会 ※3自治会が一体で行う

事業の運営体制

※PT=プロジェクトチーム

役割	人数	備考
あじさい祭り運営	45人	役員・ウーマンPT・子ども会・実行委員 新たに地区内ボランティア(ロックン男子・女子)
地域防犯防災活動	12人	役員(区長・副区長6人)・防犯防災PT6人

役割	人数	備考
感謝状作成及び授与	3人	北部・南部区長と副区長1人
防災研修運営	15人	役員・防犯防災PT
ホームページの充実	3人	役員（区長2人・副区長1人）



活動の効果

自治会存続の危機に直面した当自治会は、昨年度より様々な改革を実行してきた。班長によるプロジェクトチームが実績を上げ、自治会に続けて参加してみたいという人員も出てきた。新六区ボランティアチーム（名称：ロックン男子・女子）12名の方々には積極的に地区事業に参加していただき、明るく楽しそうな雰囲気から、さらに輪が広がりとくさんの方々にはボランティアチームに参加していただけるようにしていきたい。また、班長からはたくさんの意見要望が出され、出された意見要望に対しては本人自ら参加するようになり自主・自発的な参加と運営が少しずつできつつある。さらに自治会の皆さんが自主・自発的に自治会運営に参加していただけるように取り組んでいく。



写真



▲ 小手指第六区自治会HP



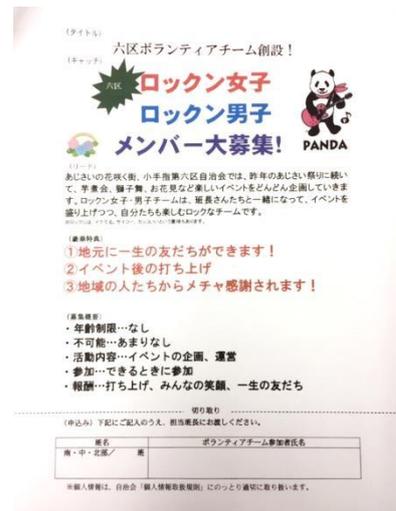
◀ HPの充実
写真つきで活動や事業が紹介されており、自治会の様子がよく分かります。



◀ あじさい祭り
小手指第六区自治会は「あじさい」をコミュニティの象徴としています。四季のイベントで交流を図っています。

▶ 防災研修

暴風体験・消火活動体験・煙の逃げ方など、なかなか体験できないことを、一度体験学習しておくことで安心です。



▲ ロックン男子・女子自治会に参加してみたいというボランティアチームの総称です。今後もますます拡大を図ります。

東町町内会

東町町内会 安心安全の自主防災Ⅱ



目的

東町自主防災組織を編成し、各マンションとの連絡会と合わせた組織を構築する事により、町内会仲間意識を高める。



内容

昨年立ち上げた東町自主防災連絡会による防災準備会を開き、町内会及び各マンションにて防災用品・防災機材を用意し展示会及び防災料理教室を開催し広報を行う。

☆昨年立ち上げた東町自主防災連絡会はマンション何軒かの組織であったが、今年度は町内会全体の自主防災組織を編成していく。また、防災用品の展示や防災料理教室を行う。



スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
9月	日東会館	東町自主防災連絡会全体会議	各マンションより参加
9月	東町全域	わが家の防災アンケート実施	全世帯に配布
11月	日東会館	防災用品展示会の開催	
11月	日東会館	炊き出し訓練	参加者100人
2月	東町全域	アンケートの結果報告と防災準備の案内	全世帯に配布



共同実施団体

所沢小学校PTA



事業の運営体制

役割	人数	備考
訓練参加役員	15人	各マンションより参加。炊き出し訓練を行った
アンケート作成	3人	アンケートの項目等を検討
物品買い出し	3人	店にて購入とインターネットによる購入



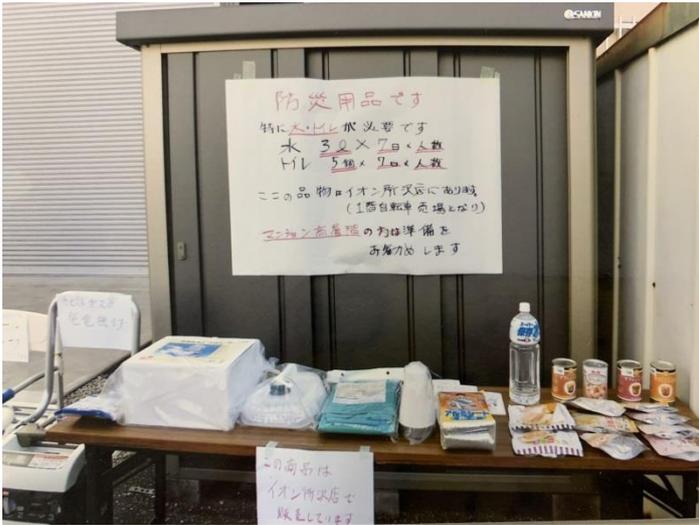
活動の効果

アンケートの結果では5%程度しか十分な備えをしていませんでした。防災意識を高めることにより、各自が防災の準備を進めるきっかけになることを期待して、次年度も行おうと思いました。また、防災の要は仲間づくりということを知ってもらい、町内会の活動を通じて安心安全のまちづくりを皆で進め、町内会の意義を理解してもらおうことにつながると考えています。

最近では防災の活動を通じて各マンションと連携が取れるようになり、町内会の事業（新年会、親睦旅行等）にもたいへん多くの人々が参加してくれようになってまいりました。



写真



▲防災用品展示会

防災対策についてのアンケートを行った結果、ほとんどの家庭が「少し準備をしている」でした。そこで、実際に防災用品の展示を見てもらい、防災意識の向上を図りました。



▲炊き出し訓練

日東会館（自治会館）に何を準備すべきかみんなで考えるきっかけとなりました。事前に災害について考えることで、いざという時の「共助」に備えることができます。

平成30年度をもって、紡ごう絆
地域応援事業は終了となります。
令和元年度から募集はございません。

これまでご応募いただいた多くの自
治会・町内会の皆様、ありがとうご
ざいました。



平成30年度 紡ごう絆地域応援事業 事例集

令和元年6月発行

発行・お問合せ先：所沢市市民部地域づくり推進課
〒359-8501 所沢市並木一丁目1番地の1

TEL：04-2998-9083

FAX：04-2998-9491

メールアドレス：a9083@city.tokorozawa.lg.jp

URL

[http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/shiminsanka/jic
hikai/katudou/kizunaouen/index.html](http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/shiminsanka/jic
hikai/katudou/kizunaouen/index.html)

市ホームページ→

